

(2) 平成 1 6 年 7 月 福 井 豪 雨

気 象 ・ 降 雨 概 要

7 月 1 7 日 夜 从 1 8 日 に か け て、活 発 な 梅 雨 前 線 が 北 陸 地 方 を ゆ っ く り と 南 下 し た の に 伴 い、福 井 県 や 岐 阜 県 で 大 雨 と な っ た。特 に、1 8 日 朝 从 昼 前 に か け て 福 井 県 で 非 常 に 激 し い 雨 が 降 り、美 山 町 で は 1 時 間 に 9 6 m m の 猛 烈 な 雨 が 降 り、総 降 水 量 は 7 月 の 月 降 水 量 の 平 年 値 (2 3 6 . 7 m m) を 上 回 る 2 8 5 m m と な っ た。ま た、福 井 県 で は 1 8 日 の 日 降 水 量 1 9 7 . 5 m m を 観 測 し た。

被 害 の 状 況



【九頭竜川水系足羽川の破堤状況
(福 井 県 福 井 市)】



【破堤によるはん濫水により損壊した
家屋 (福 井 県 池 田 町)】



【市街地を貫流するはん濫水
(福 井 県 美 山 町)】

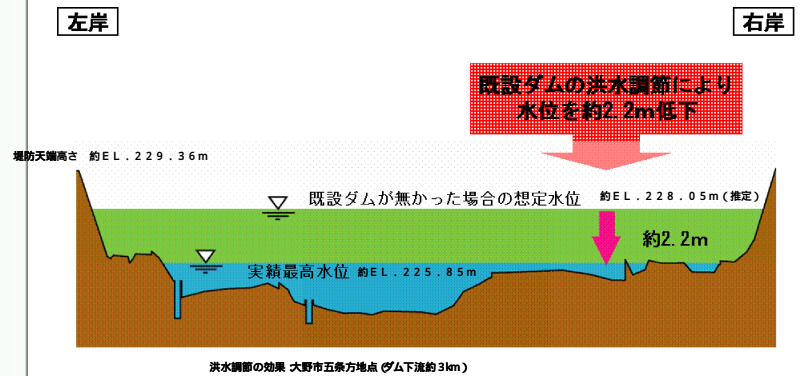
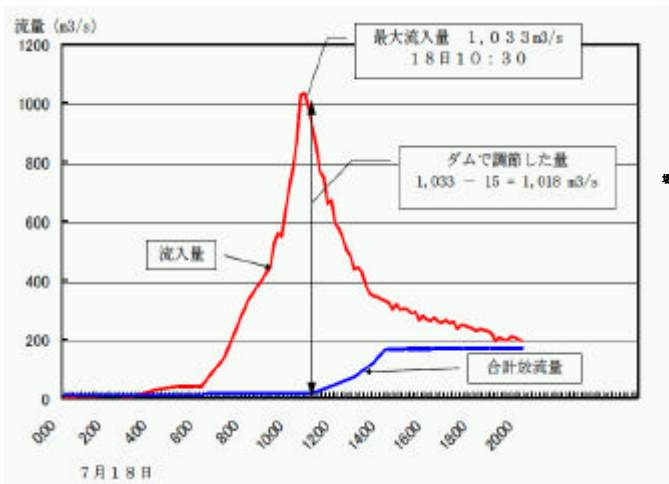


【土石流により損壊した家屋
(福 井 県 今 立 町)】

【福井県】 死者 4 名、行方不明者 1 名
床上浸水 4,052 棟、床下浸水 9,674 棟
家屋全壊 66 棟、半壊 135 棟、一部破損 229 棟
公共土木施設被害：河川 416 件等 (1 月 1 4 日 現 在 被 害 報 告)
土砂災害発生件数 123 件

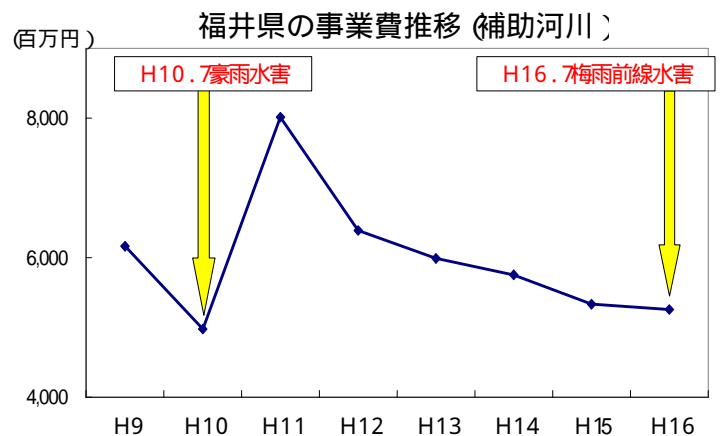
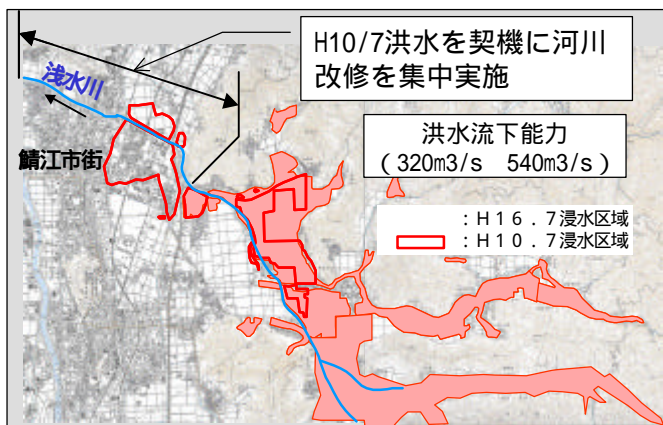
ダムによる洪水調節効果

福井豪雨において、九頭竜川水系の洪水調節機能を有する既設ダムは大きな治水効果を発揮した。なかでも真名川においては、昭和54年の管理開始以来最大となる流入量を記録したが、その洪水の殆どをダムで調整することにより、下流河川の水位を下げる事ができた。もし、ダムがなかったら大野市五條方地点では、水位が堤防天端からあと1.31m下まで達していたものと想定される。ダムにより約2.2mの水位低減効果があった。



河川改修事業の効果

福井県の河川改修は、これまでも水害の発生にあわせた集中的な予算投入を実施。毎年度の予算は大きく変動するため、機動的な予算投入は補助制度によりはじめて可能。この結果、改修区間では平成10年7月洪水の雨量を上回った平成16年7月洪水でも浸水被害を防止したが、上流の未改修区間では甚大な浸水被害が発生。



効果を発揮した砂防設備

集中豪雨により多くの土砂災害が発生した一方で、砂防設備においては上流で発生した土石流や流木を捕捉するなど、その効果の発現により、多くの災害や被害の拡大を未然に防ぐことができた。



【鋼製砂防えん堤が土石流及び流木を捕捉し被害を未然に防止(福井県今立町)】